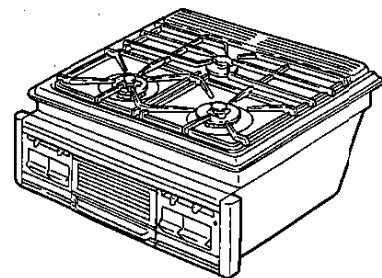


# ビルトインコンロ

## 10-599型

型式名 RBG-36J



## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み  
のうえ、正しくお使いください。なお、  
ご不明な点があればお買い求めの販売店  
にお問い合わせください。

### 大阪ガスのお問い合わせ先

|                     |                      |                     |
|---------------------|----------------------|---------------------|
| 大阪支社                | 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95  | 電話 大阪 06 (586)3200  |
| 南部支社                | 〒590 堺市住吉橋町2-2-19    | 電話 堺 0722(36)1131   |
| 北部支社                | 〒569 高槻市藤の里町39-6     | 電話 高槻 0726(71)0381  |
| 東部支社                | 〒578 東大阪市稲葉2-3-17    | 電話 河内 0729(62)1131  |
| 兵庫支社                | 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 | 電話 神戸 078(360)3100  |
| 京都支社                | 〒600 京都市下京区中堂寺粟田町1番地 | 電話 京都 075(311)7381  |
| 奈良支社                | 〒631 奈良市学園北2-4-1     | 電話 奈良 0742(44)1111  |
| 和歌山支社               | 〒640 和歌山市本町1-5       | 電話 和歌山 0734(31)2481 |
| 兵庫西支社               | 〒670 姫路市神屋町4-8       | 電話 姫路 0792(85)2221  |
| 豊岡支社                | 〒658 豊岡市三坂町6-57      | 電話 豊岡 0796(23)2221  |
| 滋賀支社                | 〒525 草津市追分町字荒瀬680-1  | 電話 草津 0775(62)5311  |
| 滋賀東支社<br>(長浜営業センター) | 〒522 彦根市大東町12-11     | 電話 彦根 0749(22)3131  |
| 本社・ガスビル<br>サービスセンター | 〒526 長浜市南呉服町3-4      | 電話 長浜 0749(82)7171  |
|                     | 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2  | 電話 大阪 06 (202)2221  |

大阪ガス株式会社

# 各部のなまえとはたらき

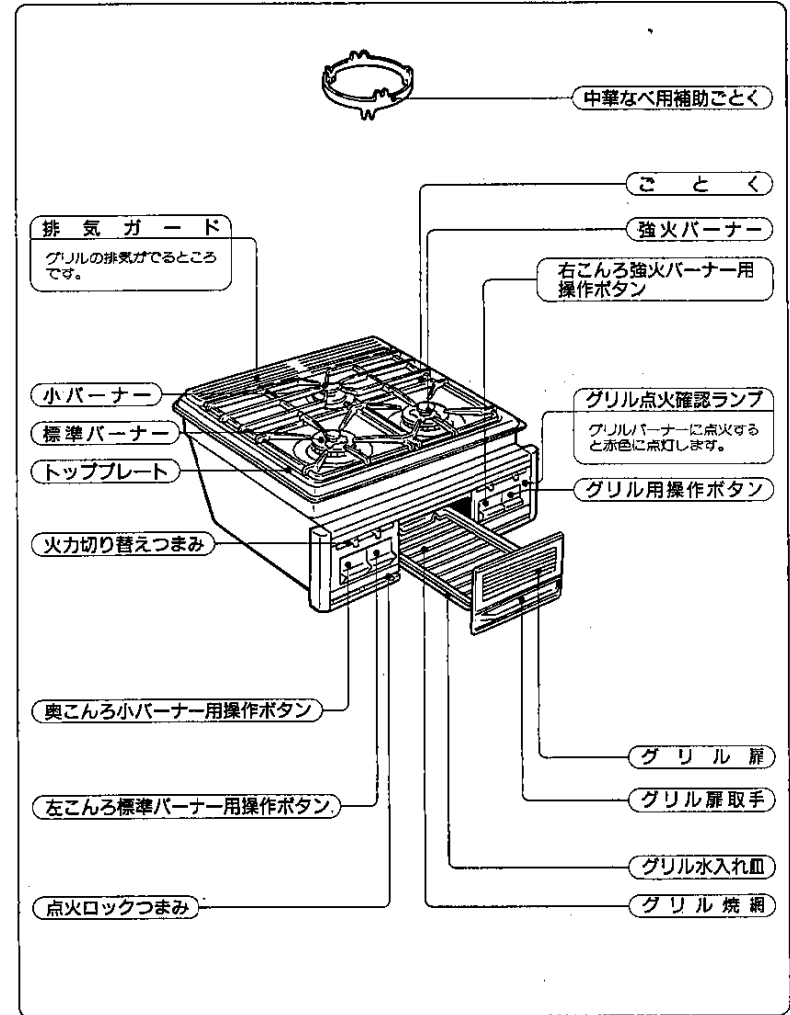
## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのビルトインコンロをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

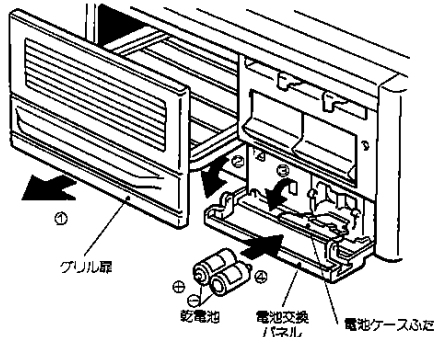
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

## もくじ

|              |                |
|--------------|----------------|
| ●各部のなまえとはたらき | 1・2            |
| ●設置にあたってのご注意 | 3              |
| ●必ずお守りください   | 4              |
| ●ご注意とお願い     | 5・6            |
| ●使いかた        | 7・8・9・10・11・12 |
| ●点検・お手入れのしかた | 13・14          |
| ●修理を依頼される前に  | 15・16          |
| ●寸法図         | 17             |
| ●保管とアフターサービス | 18             |
| ●仕様          | 19             |
| ●別売部品のご紹介    | 20             |



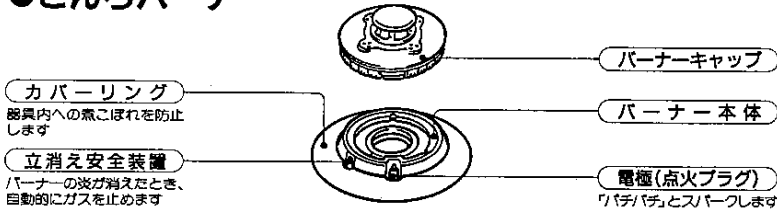
### ●乾電池の取り付け



- ①グリル扉を引き出してください。
- ②電池交換パネルの◀印の側面凹みに指をかけ引いて手前にお出してください。
- ③電池ケースふたのつまみを上へ持ち上げながら手前に開いてください。
- ④乾電池(単2・1.5V)を2個押し込み、電池ケースふたを上へ持ち上げながら開けて下へスライドさせてください。  
(乾電池の向きは電池交換パネルに表示してありますので間違えないように入れてください。)
- ⑤電池交換パネルを元の状態に戻してください。

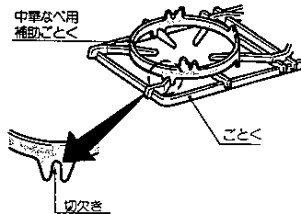
**ご注意**  
電池交換をした後、電池交換パネルは必ず元の状態にしてください。

### ●こんろバーナー



### ●中華なべ用補助ごとく

付属の中華なべ用補助ごとくは中華なべを用いて料理される時、なべの安定性を良くするためにごとくにのせてお使いください。ごとくにのせてから確実に固定されているか確認してください。



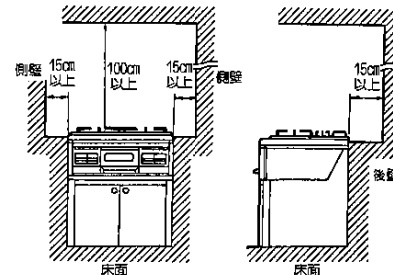
※中華なべは火力の強い強火バーナー側をお使いください。

# 設置にあたってのご注意

## 設置にあたってはつぎのことにご注意ください

(詳しくは設置工事説明書をお読みください)

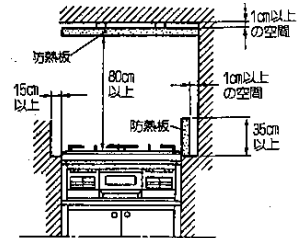
### ●本体と壁との間はあけてください



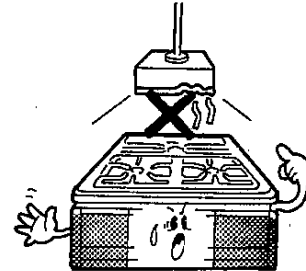
- ・器具と上方の天井、たななどの可燃物の間は、100cm以上離してください。
- ・側壁および後壁は不燃のような可燃性の壁から、15cm以上離れた場所でお使いください。

- ・可燃性の壁から15cm以上(天井面は100cm以上)離して設置することができない場合
- ・別売りの防熱板を下図のように取り付けてください。
- ・調理台・流し台の側面などが可燃性で器具のトッププレートより高い場合も防熱板で流し台の側面を保護してください。

防熱板(コードNo: 15-100-0077, 0078)

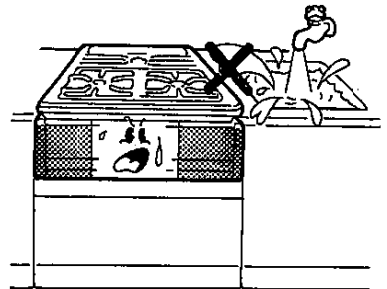


### ●樹脂製の照明器具の下へ設置しないでください



樹脂製の照明器具の下でのご使用はおさけください。照明器具のかさなどが変形することがあります。

### ●水のかかる場所はおさけください



部品の故障、ガラスの破損の原因になります。

### ●ガスの接続についてのご注意

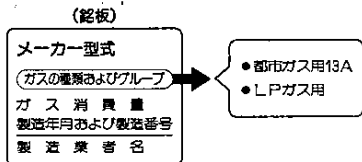
ガスの接続は、お買い求めの販売店に依頼し、設置工事説明書に従い、正しく設置してあるかご確認ください。

# 必ずお守りください

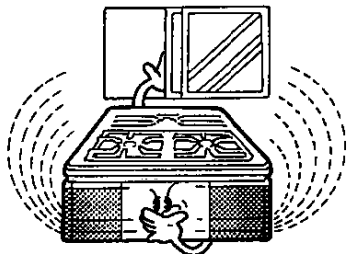
安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください

## 使用ガスについてのご注意

- ガスの種類をお確かめください。
- 本体の右側面に貼ってある銘板に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているか必ずお確かめください。表示以外のガス(ガスグループ)では、使用しないでください。
- ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ご使用ガスが不明な場合、または器具表示と一致しない場合は、お買い求めの販売店やお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類を必ずお確かめください。



## ●ガス漏れには じゅうぶんご注意ください

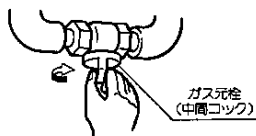


ガス漏れに気づいたときには、窓や戸を全部開けたあと、すぐにガス元栓(中間コック)を閉め、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。



万一ガス漏れしたときは、換気扇など電気器具のスイッチの「入・切」や、電源プラグの抜き差し、ライター・マッチの使用は爆発の危険性がありますので絶対しないでください。

## ●ガス元栓を閉めてください



器具をご使用にならないときや、お出かけ・おやすみになるときは、必ずお部屋のガス元栓を閉めてください。

●火をつけたままで、外出・就寝は絶対しないでください。

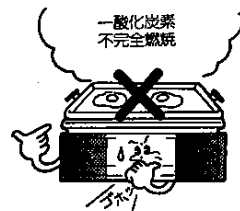
# ご注意とお願い

つぎのことは必ず守ってください

- ガス使用中は換気に じゅうぶんご注意ください
- 市販の補助具使用について



ときどき窓をあけるか、換気扇を回すなどして新しい空気をに入れてください。

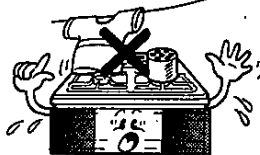


## ●近くに燃えやすいものを 置かないでください



カーテンなどの燃えやすいものをそばに置くと、風が吹いた時火災の原因などになりますので絶対に置かないでください。また、ベンジン、油なども置くと危険ですので置かないでください。

## ●調理以外の目的に 使用しないでください



衣類やふきんなどの乾燥や炭・燐灰おこしなどのご使用はさけてください。焼損・火災などの危険性があります。

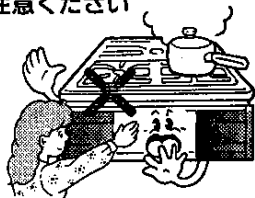
- こんろを覆ってしまうような補助具や大きな鉄板・陶板類はお使いにならないでください。不完全燃焼による中毒や過熱・異常燃焼による器具の焼損・火災などの危険があります。
- トッププレートの上に市販のアルミは製する受けを敷いてお使いになる場合は、しる受け部にじゅうぶんなじむようにお使いください。バーナーに近づいて炎に当たったり、バーナーの周りのすき間をふさぐと不完全燃焼してガス中毒の原因となりますのでご注意ください。

## ●落下物のないところで 使用してください



たなの下など落下物の危険のあるところでのご使用はお避けください。

●調理中は、やけどにご注意ください



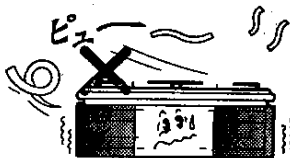
ご使用中および使用直後は、扉ガラス、扉開閉などは高温になっていますので、手をふれないでください。

●調理中は場所を離れないでください



火をつけたまま就寝・外出は絶対になさらないでください。

●強い風が吹き込むところで使用しないでください



強い風が吹き込むところでのご使用はおさげください。風で吹き消されることがあります。

●排気口をふさがないでください



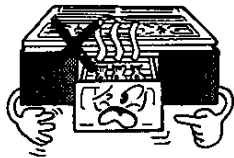
グリル排気口の上には、なべ、やかん、ふせん、タオルなど、ものを置いたり、排気ガードをアルミはくなどで包んでグリル排気口をふさがないでください。流し台のワークトップをこがしたり、火災や故障の原因になります。

●煮こぼれはバーナーや器具を早くためます



一度煮立ったら、沸騰が続く程度の火力に調節してください。

●グリル扉を開けたままグリルを使わないでください



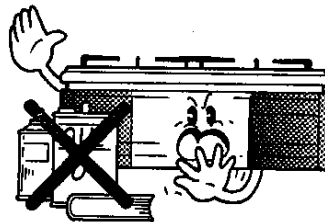
器具上部が変色したり、流し台のワークトップをこがしたりするおそれがあります。

# 使いかた

## 操作前の準備と確認

### ①器具周囲の確認

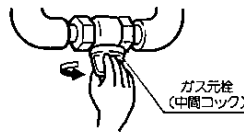
・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。



### ②乾電池を入れてください (P2参照)

### ③ガス元栓を開く

・開く前に操作ボタンが「消火」の状態であることを確認してください。

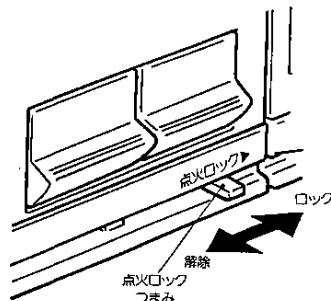


### ④点火ロックを解除

・点火ロックつまみを左へスライドして解除の位置にしてください。

#### ※ロック操作

- ・点火ロックつまみを右へスライドするとロックします。小さなお子様のをいたずら防止など、使用しないときは安全のためロックの位置にしてください。
- ・点火ロックつまみは、こぼれ、グリルとも消火の状態で作してください。
- ・ロックされているとき操作ボタンを無理に押さないでください。故障の原因になります。

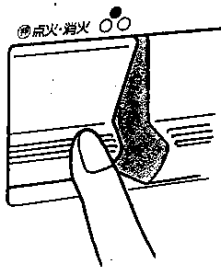


## 点火操作

### こんろ部

#### ■操作ボタンをいっばいに押す

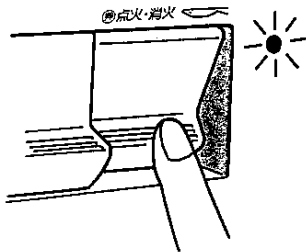
- ・点火ロックつまみが解除してあることを確かめてから操作ボタンをいっばいに押します。
- ・操作ボタンを押すと「パチパチ」と放電してバーナーに点火します。(3つのこんろとグリルが同時に放電します。)
- ・バーナーへ火移りしたことを確かめてから数秒間(安全装置が働くまで)そのまま押し続けてください。



### グリル部

#### ■操作ボタンをいっばいに押す

- ・点火ロックつまみが解除してあることを確かめてから操作ボタンをいっばいに押します。
- ・操作ボタンを押すと「パチパチ」と放電します。点火確認ランプが点灯するまで、そのまま数秒間押し続けます。(3つのこんろとグリルが同時に放電します。)



ご注意



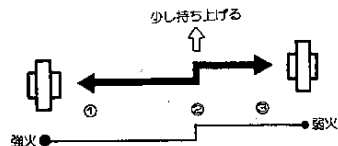
- ・万一点火しないときは、操作ボタンを一旦消火の状態にもどしてからあらためて点火の操作をしてください。
- ・はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで操作ボタンを押し続けてください。
- ・操作ボタンは必ずいっばいに押してください。途中で操作ボタンから手を離すと点火しません。

## 火力調節

### こんろ部

#### ■火力切り替えつまみをゆっくり操作する

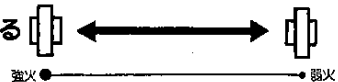
- ・火力切り替えつまみを「強火」と「弱火」の間でゆっくり操作します。
- ・強火から中火までは②のから③の間で調節できます。②の位置で火力切り替えつまみはストップします。
- ・中火から弱火までは③から④の間で調節できます。③の位置で火力切り替えつまみを少し持ち上げスライドさせ、中火から弱火の火力調節をしてください。



### グリル部

#### ■火力切り替えつまみをゆっくり操作する

- ・火力切り替えつまみを「強火」と「弱火」の間でゆっくり操作してください。

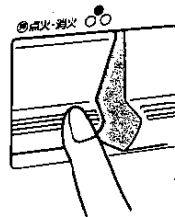


## 消火操作

### こんろ部

#### ■操作ボタンを押す

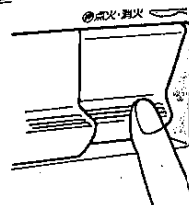
- ・操作ボタンを押します。操作ボタンがもどって消火します。



### グリル部

#### ■操作ボタンを押す

- ・操作ボタンを押してください。操作ボタンがもどって消火します。



ご注意



- ・こんろ部使用時、キャビネット扉の急な開閉操作をしますとこんろの炎が消えることがありますのでご注意ください。
- ・こんろ部バーナーは消火時にボンという音がある場合がありますが、これは火が消えた時の音で異常ではありません。
- ・消火直後はやけどのおそれがありますので、器具に手を触れないでください。
- ・小さなお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、こんろから離れるときは念のためにお部屋のガス元栓を閉じて、点火ロックつまみをロックの位置にしておいてください。

## グリル部の使いかた

### カラ焼き

※はじめてお使いになるときは、必ずグリル水入れ皿に水を入れ、換気をしながら約10分間のカラ焼きをしてください。油を焼ききるため、煙と臭いが出ますが異常ではありません。

### グリル水入れ皿

・グリル扉と一体になっております。グリルケース下部の引き出し部へグリル水入れ皿を入れ、グリル扉がグリルケースにあたるまで挿入してお使いください。

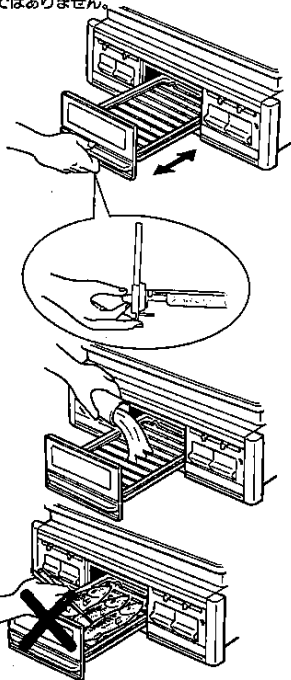
※グリルケースにあたるまで挿入しないと、グリル扉が完全にしまりません。

※グリル水入れ皿を差し込む場合は、グリル扉部を少し持ちあげてから差し込んでください。

・グリル使用時は必ずグリル水入れ皿に水(コップ1杯約200cc)を入れてください。魚や肉から出る油脂の焼付防止や万一の発火防止に役立ち、また使用後のお手入れが容易になります。  
 ・水を入れる場合は、グリル水入れ皿を少し引き出してからコップなどで入れてください。

※グリル水入れ皿の底面に脂が多くなりすぎると、燃えたり飛びちりが多くなりますので、水を入れかえてください。また焼けてお使いになる場合はとくに水量に注意してください。

※使用中グリル扉、ガラスは高温になっていますので、魚をうら返す時、取り出す時、手をふれないようご注意ください。



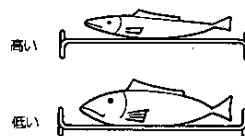
○注意



- ・グリル水入れ皿に水を入れずにお使いになりますと、魚や肉から落ちた油脂が燃えるおそれがあります。
- ・魚や肉をたくさん焼くときは水を追加してください。また油脂が飛びちるときは水を入れかえてください。
- ・グリル水入れ皿の中にアルミはくなどを敷いてお使いにならないでください。アルミはくなどに油脂がたまり燃えるおそれがあります。

### グリル焼網

- ・グリル水入れ皿の中に入れてお使いください。
- ・グリル焼網は裏表で高さを変えられます。焼物の種類、大きさにより使いわけてください。
- ・焼物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網のせいで焼いてください。



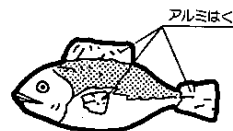
### 上手な使い方

#### ① 予熱

- ・表面のこげやすいもの(つけ焼き、照焼き、粕漬け、みそ漬けなど)や、火の通りの悪い魚(身の厚い魚)などは、予熱しないでそのまま焼きます。
- ・それ以外の魚や肉は、点火後約3分予熱し、温度が上がってから材料を入れてください。またこのときにグリル焼網も同時に熱しサラダ油を塗ると材料がくっつきにくく、でき上がり後取りやすくなります。

#### ② 魚焼きのコツ

- ・こげやすい部分やヒレなどには厚目に塩をふりかけるか、アルミはくで包んで焼きます。
- ・みそ漬けや粕漬けは、みそや粕をじゅうぶんにふきとってから焼きます。



○注意



- ・グリル水入れ皿を引き出すとき、持ち上げて引き出しますと途中で止まらないときがあります。取手を持ち上げずに、引き出してください。
- ・グリル扉は必ずしっかりと閉めてご使用ください。グリル扉を開けたままご使用になると、本体上部が変色したり、流し台のフットップをこがしたりするおそれがあります。
- ・グリル扉の開閉はゆつくり操作してください。早く操作すると消火することがあります。
- ・グリル使用中、使用後はグリル水入れ皿、グリル扉はあつくなっていますので直接手で触れだらないでください。また、あつくなった水入れ皿を持ち運ぶときは、グリル扉取手以外には手を触れないよう注意してください。

## 使用時のご注意

### こころ部

- ・煮こぼれは器具を早くいためますのでご注意ください。煮こぼれで炎口がつかると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。
- ・煮こぼれた場合は13ページの「点検・お手入れのしかた」を参考にお掃除ください。
- ・点火の際は、こころになべやかんをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。



### グリル部

- ・グリル使用中、後部の排気口の上に物をのせないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- ※グリル使用中は魚などの焼きすぎにご注意ください。そのまま放置しますと魚などが燃え排気口から炎がでることがあります。
- ※グリル使用時にこころを使用すると焼物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼してガスの炎が赤色を帯びることがありますが異常ではありません。

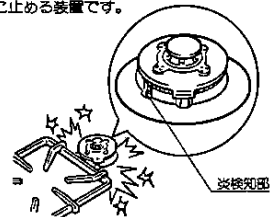


## 立消え安全装置について

- ・立消え安全装置は、煮こぼれや火が消えたときにガスを自動的に止める装置です。

- ※立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底に付いた水滴はふきとってから、ごとくの上のせてください。(煮こぼれにも注意してください)

- ※炎検知部に固いものをぶつけたりしないでください。取り付け位置が変わると点火しにくくなります。



## 安全装置が作動したときの処置方法

- ・使用中消火したときは、すぐに操作ボタンを押し消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス元栓も「止」の状態に戻して15ページの「修理を依頼される前に」および、つぎの方法により処置してください。

### 処置方法

- ・風や煮こぼれでバーナーの炎が消えたときには、立消え安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。(30秒～1分程度)
- ・消火に気づいたときは、すぐに操作ボタンを押し消火の状態に戻してください。
- ・再点火されるときは、周囲に生ガスがなくなるまで少し(約1分)待ってから「点火操作」に従ってください。

# 点検・お手入れのしかた

## 日常の点検

### ①付属品が正しくセットされていますか?

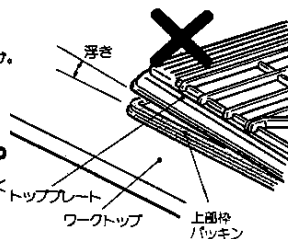
- ・バーナーキャップ、カバーリング、ごとく、排気ガードなどは正しくセットされた状態でお使いください。

### ②つまり、たまり、汚れはありませんか?

- ・バーナーキャップの炎口が煮こぼれなどでつまっていませんか。
- ・立消え安全装置が、煮こぼれなどで汚れていませんか。
- ・グリル水入れ皿に多量の脂がたまっていませんか。
- ※脂がたまったまま使用しますと、脂が燃えることがあります。

### ③トッププレートが正しくセットされていますか?

- ・トッププレートがワークトップから浮き上がらないよう正しくセットされた状態でお使いください。



## お手入れ

### ①ごとく・カバーリング・排気ガード・グリル水入れ皿・グリル焼網

- ・中性洗剤(食器・野菜洗い用)をふくませた、スポンジタワシなどのやわらかいもので洗います。
- ・洗ったあとは水洗いをし、乾いた布でじゅうぶん水気をふきとってください。

(バーナーキャップ裏面)

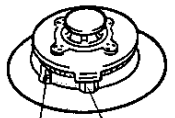


### ②トッププレート・器体(前面は除く)

- ・液状の洗剤を布にふくませて汚れを落とし、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気をじゅうぶんふきとってください。
- ※器体前面の汚れは濡った布でふきとってください。

### ③こころバーナー

- ・バーナーキャップを取りはずし、ブラシや針金などでお掃除してください。
- ・目づまりなどで弱くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。
- ※交換部品はもよりのサービスショップか、支社でお求めください。
- ・点火プラグがぬれていて正常な放電をしないことがあります。乾いた布などで水気や汚れをふきとってください。



立消え安全装置(炎検知部) 電極(点火プラグ)



- ご注意
- ・日常の点検・お手入れの際にはガス元栓を閉じ、器具がじゅうぶん冷えてからおこなってください。また、けがをしないように手袋などをしておこなってください。(グリル内、グリル排気口まわりは、特に注意してください。)



### こんろバーナーの取り付けかた

お手入れ後は正しくセットしてください。

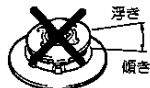
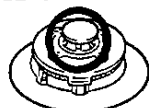
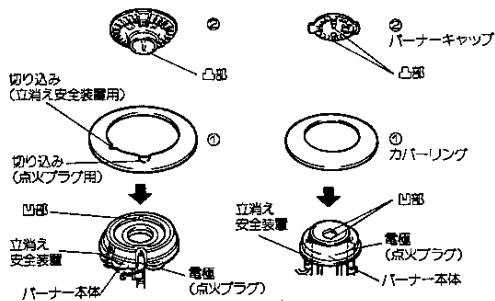
●①(カバーリング)②(バーナーキャップ)

の順に取り付けてください。

●①カバーリングは、切り込みをバーナー本体の点火プラグ・立消え安全装置の位置に合わせてセットしてください。

●②バーナーキャップは、凸部をバーナー本体凹部の位置に合わせてセットしてください。(バーナーキャップ上面の▲印を目安にすると、取り付けがかんたんです)

\*カバーリングが厚いしたり、バーナーキャップが正しく取り付けられていないと点火しなくなったり、炎が不ぞろいになり、逆火などとして危険ですのでじゅうぶんご注意ください。



バーナーキャップの浮き カバーリングの傾き バーナーキャップの裏返し

### 4 グリル扉

・そのつどまだ遠いうちに汚れを落としてください。

・汚れがひどいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布でじゅうぶん水気をとっておいください。

\*ガラスはミガキ砂や金属片、金タワシなどでこすらないでください。印刷がはげたり、キズをつけると割れる原因になります。

・グリル扉は簡単に取りはずし、取り付けができます。(下図の要領にておこなってください) なお、取り付けるときは、グリル水入れ皿の爪2箇所をグリル扉の角穴にはめ込み回転させてください。その際、押えパネがグリル水入れ皿に確実にハマっているが確認してください。

●取りはずしかた

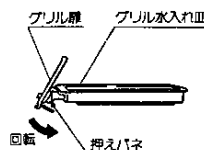
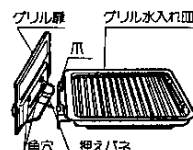
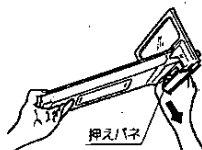
①押えパネを▲の方向に下げる

●取り付けかた

①グリル水入れ皿の爪2箇所をグリル扉の角穴にはめ込む

②▲の方向に回転させる

③押えパネがグリル水入れ皿に確実にハマっているが確認する



# 修理を依頼される前に

## 修理を依頼される前に

### 1 修理を依頼される前にもう一度ご確認ください

#### ●つぎのことを調べてください

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、修理・サービスをお申しつけになる前に一度つぎのことをお調べください。

| 現象          | 原因                          | 処置方法                                      | ページ |
|-------------|-----------------------------|---|-----|
| ●点火しない      | ●電極(点火プラグ)                  | ●乾電池は入っていますか。                             | 2   |
|             | ●電極(点火プラグ)または点火プラグ用リード線のはずれ | ●正しく接続してください。                             | —   |
|             | ●カバーリング、バーナーキャップの誤セット       | ●正しくセットしてください。                            | 14  |
|             | ●ガス元栓の閉き忘れ                  | ●ガス元栓を全開にしてください。                          | 7   |
| ●点火しにくい     | ●ガス元栓の開き不十分                 | ●ガス元栓を全開にしてください。                          | 7   |
|             | ●LPガスがなくなりかけている             | ●新しいボンベと交換してください。                         | —   |
|             | ●カバーリング、バーナーキャップの誤セット       | ●正しくセットしてください。                            | 14  |
|             | ●電極(点火プラグ)の水ぬれ、汚れ           | ●水ぬれや汚れをふきとってください。                        | 13  |
|             | ●配管中に空気が残っている               | ●点火操作をくり返してください。<br>*設置時など点火するまで時間がかかります。 | 8   |
|             | ●バーナーキャップ炎口づまり              | ●炎口を掃除してください。                             | 13  |
| ●異常音をたてて燃える | ●バーナーキャップ取り付け不良             | ●正しく取り付けてください。                            | 14  |
| ●爆発的に着火する   | ●バーナーキャップ取り付け不良             | ●正しく取り付けてください。                            | 14  |
| ●使用中消火しやすい  | ●立消え安全装置部分の汚れ               | ●立消え安全装置部の掃除。                             | 12  |
| ●真炎で燃える     | ●バーナーキャップ炎口づまり              | ●炎口を掃除してください。                             | 13  |
| ●炎が安定しない    | ●カバーリング、バーナーキャップの誤セット       | ●正しくセットしてください。                            | 14  |



●不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身で修理なさらないでください。

## 2こんな場合は故障ではありません

| 現象                 | 理由   |
|--------------------|--|
| ●はじめてグリルを使ったとき煙がでた | ●庫内には加工油を使っています。グリルをはじめてお使いになると、その油が焼けて煙がでます。はじめてグリルをお使いのときは庫内の油を焼ききるために、10分程カラ焼きしてください。 |

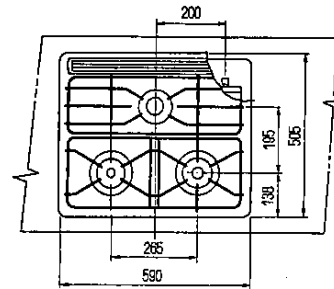
## 3修理を依頼される場合

以上の事項をご確認のうえ、ほかに異常があるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大坂ガスサービスショップ、もしくは大坂ガス支社へご連絡ください。

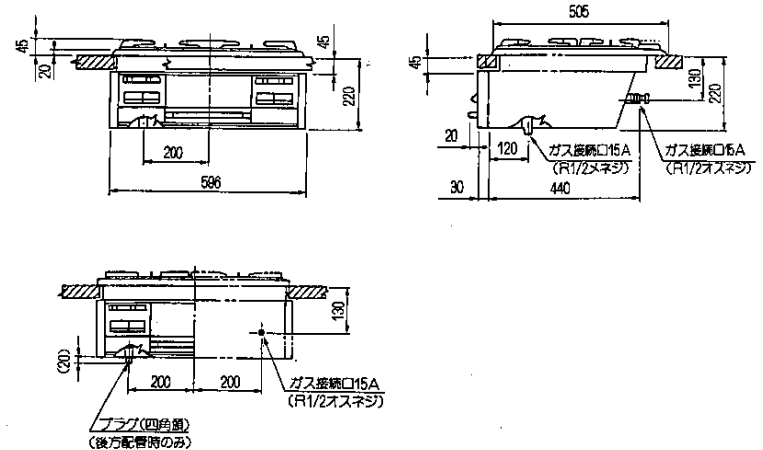
# 寸法図

(単位: mm)

平面図



正面図



# 保管とアフターサービス

## 保管（長期間使用しない場合）

- ガス元栓を閉じてください。
- お手入れをしておくこと次回使用するときに便利です。（P13・P14参照）

## アフターサービスのお申し込み

### 1 サービスのお申し込み

- サービス（点検・修理）を依頼される前に  
「修理を依頼される前に」（P15・P16）の項を見て、もう一度ご確認ください。  
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

- ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名……………ビルトインコンロ
2. 品 番……………トッププレートを取りはずすと本体の右内側面に貼付してあります。

例 (N)10-599(U)

大阪ガス株式会社 01

3. 故障、異常の現象……できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号

### 2 転居されるとき

- ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。  
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、器具の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。  
この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。  
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

### 3 保証・補修について

- 保証期間中は…  
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。  
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について  
買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造切後6年間です。

# 仕様

|                     |   |        |       |       |                                  |
|---------------------|---|--------|-------|-------|----------------------------------|
| 品 名                 | ビルトインコンロ                                  |        |       |       |                                  |
| 品 番                 | 10-599型                                   |        |       |       |                                  |
| 型 式 名               | RBG-36J                                   |        |       |       |                                  |
| 種 類                 | グリル付ドロップインコンロ                             |        |       |       |                                  |
| 点 火 方 式             | 連続放電点火式                                   |        |       |       |                                  |
| 外 形 寸 法             | 高さ265mm×幅596mm×奥行538mm                    |        |       |       |                                  |
| 重 量                 | 21 kg (付属品含む)                             |        |       |       |                                  |
| ガ ス 接 続             | 15A (1/2B) 金属可とう管                         |        |       |       |                                  |
| 安 全 装 置             | 熱電対式立消え安全装置                               |        |       |       |                                  |
| 使用ガスの種類<br>ガスグループ   | 1時間当りのガス消費量                               |        |       |       | 全点火時<br>ガス消費量                    |
|                     | 個別ガス消費量                                   |        |       |       |                                  |
|                     | 強火バーナー                                    | 標準バーナー | 小バーナー | グリル   |                                  |
| 都市ガス13A<br>(kcal/h) | 4,100                                     | 2,300  | 1,100 | 1,950 | 9,200<br>(0.88m <sup>3</sup> /h) |
| L P ガ ス<br>(kg/h)   | 0.251                                     | 0.176  | 0.091 | 0.165 | 0.67                             |
| 付 属 品               | 中華なべ用補助ごとく、乾電池（単2×2）<br>取扱説明書、設置工事説明書、保証書 |        |       |       |                                  |

# 別売部品のご紹介

つぎのような別売部品を用意しています。

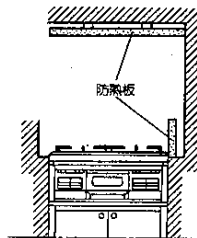
もよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス社でお求めください。

## ●防熱板 (コード№: 15-100-0077, 78)

- ・設置場所で、可燃性の壁 (ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む) から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

15-100-0077型

15-100-0078型



## ●掃除ブラシ

(4) 94-100

- ・バーナーが目づまりしたときに掃除していただく目安とした燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。



MEMO

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから (火気に注意して) 大阪ガス社、サービスセンターにご連絡ください。